

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知る区ロード			整理番号	520	枝番号					
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		コード	220503	連絡先電話番号	3363	昨年度整理番号	537	昨年度枝番号		
係名 景観係				上位施策名				No				
予算事業名 杉並「知る区ロード」				コード 52500		住民参加のまちづくり				3		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 62 年度			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民等			(1) 杉並区まちづくり基本方針 (2) (3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 歩いて杉並を知る「知る区ロード」というルート上の目印(道標)やルート沿いの休憩所(オアシス)を維持管理・整備する。 「知る区ロード」を活用したイベントを開催し、まちについてのマガジンを発行する。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自由に楽しく歩きながら、自分の住むまちや、まちの資源を知り、親しみを持ってもらうようにする。								
	活動指標名(式) (1) 知る区ロード探検隊参加者数 (2) すぎまるマガジン発行部数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)探検報告数 / 探検隊参加者数 (2)								
指標	区分		単位	16年度実績	17年度計画	17年度実績	18年度計画	18年度実績	19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)		人	863	2,000	747	2,000	754	2,000	2,000	37.7	
	活動指標(2)		部	5,000	5,000	5,000	5,000	6,000	6,000	5,000	120.0	
	成果指標(1)		%	5.2	20.0	11.4	20.0	5.6	20.0	20.0	28.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,286	6,538	5,005	5,636	4,811	7,136	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	973	1,000	998	1,000	1,173	1,000			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,280	7,248	7,248	7,248	7,248	7,248		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	12,566	13,786	12,253	12,884	12,059	14,384			
	単位あたりコスト( - )÷		円	14,561	6,893	16,403	6,442	15,993	7,192			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	12,566	13,786	12,253	12,884	12,059	14,384				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			知る区ロードの日(イベント)の開催					1	日	2,108		
			すぎまるマガジンの発行					6,000	部	2,701		
			その他 ( )							2		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 520 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	37.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	120.0	18年度予算 執行率%	85.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民ボランティアである「すぎまるサポーター」がイベントの企画内容を決めたり、イベントの運営を区とともにに行った。また、すぎまるマガジンの内容・記事の取材等についてもサポーターの協力があった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業開始当初の知る区ロード探検隊員数は、約4,000人。その後、最高時は約10,000人であったが、最近は減少している。また、当初の目的が薄れ、カードゲーム・グッズ集めに走ってしまっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	夏休みに行われる知る区ロードのイベントを楽しみにしている声がある一方、暑い中、長い距離を歩くことに対して実施時期の検討要望がある。					
	今後の予測	自分のまちの魅力を再発見するというこの事業の役目は終わった。今後は、区民が自主的にイベント等の運営を行い、区は側面から支援していく体制をとる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:知る区ロード事業自体がストレートにまちづくりに結びつくわけではないが、杉並独自のソフトなまちづくりとして全国的に知名度が高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容:周知の仕方を工夫することによって、参加者を増やす。 理由または具体的内容:小学生とその家族が主な対象になっているが、周知の仕方・イベント内容によっては歩くことに興味がある団塊の世代の参加が見込める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:休憩所(オアシス)等の施設維持管理は区が行う。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:イベント内容の提案・実施を区民との協働で行っている。区民(すぎまるサポーター)が主体的に企画・運営に関わるようになってきた。今後は、すぎまるサポーターの人員の確保とその育成が必要である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 イベント内容の提案・実施を区民との協働で行っている。区民(すぎまるサポーター)が主体的に企画・運営に関わるようになってきた。今後は、すぎまるサポーターの人員の確保とその育成が必要である。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成19年度の20周年記念事業を最後に、区主催による杉並「知る区ロード」事業を区民等主催の事業に移行することを決定している。20年度以降は、主催となる区民(すぎまるサポーター等)を、区は側面から支援する。日常の問い合わせ、道標・休憩所の維持管理は区が継続して行う。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民(すぎまるサポーター等)が主体的に企画運営できるよう育成する。また、主催を区から円滑に移行するために、役割分担を定める必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 道標や休憩所(オアシス4箇所)の維持管理経費と、区民主催でイベントを継続する体制が整えば、費用の面での支援が必要である。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		まちづくり活動支援				整理番号	522		枝番号						
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		コード	220500	連絡先 電話番号	3362		昨年度 整理番号	539	昨年度 枝番号				
係名 管理係				上位施策名				No							
予算事業名 まちづくり施策の推進				コード 52700		住民参加のまちづくり				3					
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内において自主的なまちづくり活動を行っている区民等の団体		根拠法令等 (1) 杉並区まちづくり条例 (2) 杉並区街づくり支援要綱 (3) 杉並区まちづくり協議会運営費助成金交付要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		まちづくり条例に基づき、以下の制度により、地域でのまちづくり活動を支援する。街づくり活動助成制度=自主的なまちづくり活動を行う団体へ活動経費の一部を助成 街づくりコンサルタント派遣制度=まちづくりの専門家の派遣 まちづくり協議会運営費助成制度=認定された協議会へ運営費の一部を助成		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		まちづくりの機運を高め、地域住民の交流及び生活環境の向上を図るため、地域の住民の主体によるまちづくりルールの作成など積極的にまちづくり制度を活用できる団体の育成								
	活動指標名(式)		(1) 活動助成団体数 (2) コンサルタント派遣件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (2)								
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%				
指標	活動指標(1)		団体	9		18		7		13	20	45.0			
	活動指標(2)		件	14		30		15		30	30	16.7			
	成果指標(1)														
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,470		3,236		1,859		5,954	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円												
	(内) 委託費		千円												
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.80	0.80	0.80	0.50	0.50	0.50	活動助成・コンサルタント派遣制度については、平成11年度まで「まちづくり公社」で実施 公社解散後、平成12年度から区で実施 平成15年度「まちづくり条例」施行、新たに協議会助成を加え、活動助成・コンサルタント派遣の3制度が条例に基づく支援として位置づけられた。19年度においては、「まちづくり条例」の改正作業のため事業費が増えている。					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,280		7,248		7,248					4,530		
		非常勤職員分	千円	0		0		0					0		
	総事業費 ++		千円	9,750		10,484		9,107					10,484		
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,083,333		582,444		1,301,000					456,333	713,556	806,462
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0		0						
差引: 一般財源 -		千円	9,750		10,484		9,107		8,214				6,422	10,484	
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0				0.0		
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)						
			街づくりコンサルタント派遣				5	回	195						
			まちづくり活動助成				7	団体	698						
			まちづくり協議会運営費助成				2	団体	200						
			その他 ( )						799						

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 522 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	50.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	16.7	18年度予算 執行率%	51.4
		活動助成については、17年度から3年間を限度としての助成に切り替えたため、7団体にとどまった。コンサルタント派遣も3年間の限定としたため、1団体の派遣申請にとどまり、また、新たな協議会認定はなかったため、現状の2団体にとどまっている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		まちづくり条例の改正に向けて、見直し検討会を開催した。まちづくりを行うためには総合力が要求される。またそのためには人の環が必要とされる。しかしながら、具体的なまちづくり活動に移行できる団体はまだ少ない。今後もまちづくり活動につながる地域での人の環づくりへの活動支援を引き続き行っていく必要がある。そのような観点から、今年度は見直し懇談会を立ち上げていく予定である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	活動助成団体数 H12:12 12 15 13 8 5 H18:7 コンサルタント派遣回数 H12:6 8 5 21 14 15 H18:5 協議会助成団体数 H15:1 1 2 H18:2					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	活動助成については、助成額、助成項目ともに拡充の希望が強い					
	今後の予測	まちづくり条例の施行により、地域のまちづくりについて区民の自主的な研究・活動への制度の整備は整った。しかしながら、具体的なまちづくり活動に移行できる団体はまだ少ない。今後もまちづくり活動につながる地域での各団体・個人への活動支援を引き続き行っていく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区民の自主的なまちづくり活動に対して、まちづくり条例に位置づけられた技術的・経済的支援を行うことで、より区民のまちづくりへの参画を促進する。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: まちづくり条例に規定される支援制度をより区民への周知を図り、より多くの区民に活用してもらうために、条例自体のPRに努める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 身近な地域環境の改善向上を図る目的で行われる区民の自主的なまちづくり活動を支援するものであり、受益者負担にはなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: まちづくり活動は区民、行政、事業者が協働のもとに推進される必要があり、とりわけ区民の参画を促進するためには、区によるさまざまな支援策が必要となる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 まちづくりは地域の住民が自らの手で行っていくものであるという意識を浸透させることができつつあるが、地域でのまちづくり活動がより一層活発に行われるように、自主的なまちづくり団体を育成するために、支援制度活用の促進を図る必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 まちづくり条例を基本とした制度の概要を広く区民に周知し、支援制度のさらなる活用の促進を図り、より多くの区民に身近な地域での区民主体のまちづくり活動が実践できるように支援を行う。また、まちづくり条例の改正を視野にこの助成制度のあり方もより実践的に実行できるように検討を行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 助成制度については、NPOやみどりといった各種の助成制度との連携、まちづくりという大きな視点からの連携がなされなければならない。また、単に助成するだけでなく、まちづくり条例を基本とした区民主体のまちづくりというものにつなげる手段として活用することが必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 現状予算の中で、まちづくり条例の改正を視野に入れて、より区民主体のまちづくりを支援していく。	